

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
郵便物送付先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに 日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告により公告します。(http://www.shizuokagas.co.jp/) ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
1単元の株式数	500株
証券コード	9543

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、
中央三井信託銀行株式会社(フリーダイヤル:0120-78-2031)に
お申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

「株主の皆さまへ」に関するお問い合わせ

コーポレートサービス部 広報・IR担当

電話 054-284-7986

その他のお問い合わせ

コーポレートサービス部 総務担当

電話 054-284-4153

静岡ガス株式会社

〒422-8688 静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
TEL.054-284-4141(代表)
http://www.shizuokagas.co.jp/



株主の皆さまへ

第162期 報告書 2009年1月1日から12月31日まで

●特集 社長インタビュー
次なる100年へ、持続的成長の基盤を築く

●快適な暮らしを提案します
家庭用燃料電池「エネファーム」を発売

●トピックス
第3号LNGタンクが運用を開始
新たな地震対策システムが稼動
事業所内保育施設「森のほいくえん」開設へ
ホームページをリニューアル

アンケートに
ご協力ください

詳細は同封の
アンケートはがきを
ご覧ください

次なる100年へ、持続的成長の基盤を築く

特集 社長インタビュー

目次

- 01 **特集** 社長インタビュー
次なる100年へ、持続的成長の基盤を築く
- 04 快適な暮らしを提案します
家庭用燃料電池「エネファーム」を発売
- 06 トピックス
第3号LNGタンクが運用を開始
- 08 トピックス
新たな地震対策システムが稼働
事業所内保育施設「森のほいくえん」開設へ
ホームページをリニューアル
- 10 連結財務諸表
- 12 セグメント情報
- 14 心と体に栄養を
ガスで楽しくクッキング
- 15 アンケート結果のご報告
- 16 株式の状況
- 17 会社概要・IR情報配信サービスのご案内

静岡ガスは2010年4月16日をもって創立100周年を迎えます。当社は、変化の激しい経営環境の中で、ガスの安定供給に努める一方、天然ガスの普及拡大に向けて積極的な経営を推進してきました。2010年には、当面の目標としてきたLNG100万トン体制が実現し、さらに次なる100年に向けた成長基盤づくりを着実に進めています。

Q1 創立100周年をひかえて、率直な感想をお聞きます。

当社が1世紀にわたってガス事業を継続することができたのは、長年にわたりご愛顧をいただいたお客さま、ご支援をいただいた株主さま、地域の皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます。

企業活動は30年が節目といわれますが、当社は、人々の生活や社会の変化に合わせた事業を展開し、原料も石炭から石油、そして天然ガスへとシフトしてきました。天然ガスは、他の化石燃料に比べてCO₂排出量が少ないクリーンなエネルギーです。これからの低炭素社会に貢献するため、その普及拡大をいっそう強化していきたいと考えています。

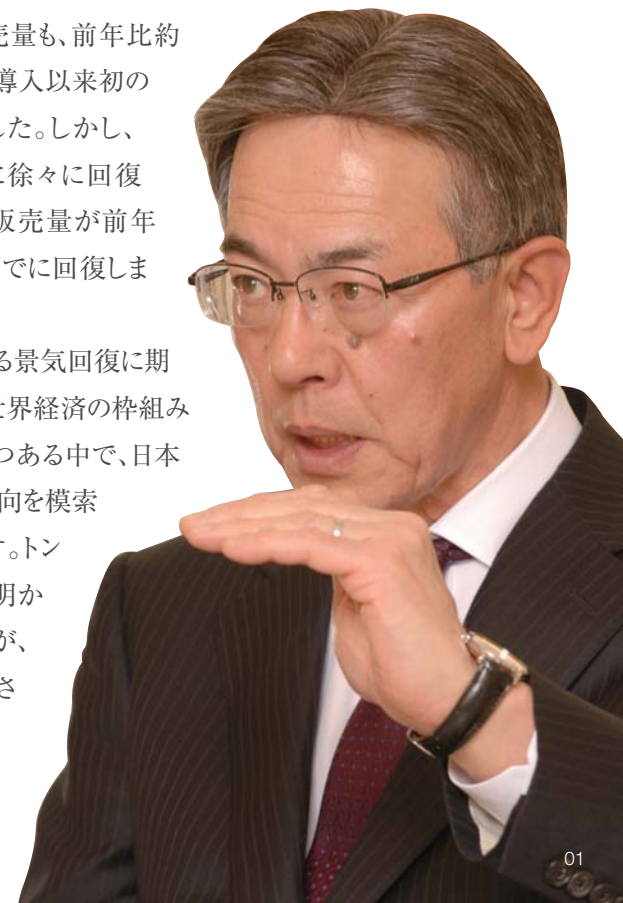
Q2 足元では、景気回復の兆しが見られる一方で、まだ不安定な状況が続いています。

2009年は国内生産が低迷すると共に、景気

の先行きに対する不安から消費も落ち込み、厳しい状況が続きました。当社の2009年の連結ガス販売量も、前年比約10%減と天然ガス導入以来初のマイナスとなりました。しかし、2009年2月を底に徐々に回復し、11月にはガス販売量が前年同期比を上回るまでに回復しました。

2010年はさらなる景気回復に期待していますが、世界経済の枠組みが大きく変わりつつある中で、日本経済も進むべき方向を模索している段階です。トンネルの向こうに薄明かりは見えていますが、まだまだ予断を許さない状況だと認識しています。

代表取締役社長 岩崎 清悟





Q3 収益面では、原料価格が下落したことで大きく改善されましたね。

当社のガス料金は、原料価格の変動を数ヵ月遅れてガス料金に反映する仕組みになっています。このため、原料費とガス料金との間にタイムラグが生じます。2009年の上半期は、前期の原料高を反映したガス料金となる一方で、原料価格が大幅に下落しました。当期は、このタイムラグの影響で、前期のマイナスを取り戻す形で大幅な増益となりました。

一方で、原油価格は新興国の旺盛な需要を背景に、2009年初めの30ドル台からじりじりと上がり、年末には80ドル前後の高値をつけました。原油価格に連動するLNG価格も、上昇傾向にあります。当社としては、原料高価格時代を前提に、より安定的、経済的な原料の調達を進めていきたいと考えています。

世界的な景気低迷と米国内での天然ガス生産の拡大によって天然ガスの需給が緩んでいる状況です。この機をとらえて、中期的な手当てができましたので、さらに、長期的な原料確保にも取り組んでいきます。

Q4 2010年の年明けに清水エル・エヌ・ジー袖師基地の3号タンクが稼動し、LNG100万トン体制が実現しました。今後の中長期の展望についてお聞きます。

LNG100万トン体制は、2005年に発表した当社の中長期ビジョンにおいて、「2012年にLNG取扱量を100万トンとする」ことを打ち出したものですが、2年前倒して

実現できました。その要因は、エリア内の大口需要を積極的に開拓したことに加え、関東・甲信越地方などにガスを供給している国際石油開発帝石さん(INPEX)への卸供給がスタートしたことです。さらに、中部ガスさんとの共同事業による静岡―浜松間の高圧パイプライン「しず はま静浜幹線」も先行区間の工事を開始しており、袖師基地をハブターミナルとする広域供給体制は大きく前進しつつあります。

当社にとって、100万トン体制は一つの通過点に過ぎません。今後も10年、20年先の持続的な発展に向けて、必要な布石をタイムリーに打っていきたいと思っています。

Q5 10年、20年先のビジョンにおいて重要なポイントはどのようなことでしょうか。

「低炭素社会への対応」がキーワードです。当社が果たす役割を見定め、時代を先取りしてビジネスに具体化していくことが重要になります。

日本は1990年比で25%のCO₂削減を国際社会に公約していますが、天然ガスへの転換が最も現実的な対応策です。25%削減というきわめて高い目標をクリアするには、ガス供給者とお客さまが協力してより効率的な利用に取り組む必要があります。例えば、発電と共に排熱を利用するガスコジェネレーションシステムにより飛躍的にエネルギー効率を高めることができます。さらに、お客さまが削減したCO₂を「排出権」という価値に変える

サービスにも、積極的に取り組んでいきます。このような取り組みを進めて、お客さまと共に次なる時代に適合したエネルギーの利用方法を追求していきたいと考えています。

Q6 2009年8月の駿河湾地震は記憶に新しいところですが、地震対策についてお聞きます。

早くから袖師基地の耐震対策やガス管の耐震化などに取り組んできたこともあって、先の駿河湾地震では全く被害はありませんでした。また、2007年から地震発生時の二次災害防止と早期復旧を同時に可能にする緊急供給停止システムの構築を目指してきました。これは供給エリアを31ブロックに分けて、一定以上の大きな揺れを感知したブロック内のガスの供給を自動停止するもので、465カ所に地震計を増設しました。2010年より全エリアでシステムが稼動し、地震対策の強化を図っています。

(地震対策システムは、8ページをご覧ください)

Q7 家庭燃料電池「エネファーム」が好調なスタートを切ったようですね。

おかげさまで2009年度は目標の50台を完売しました。改めてお客さまの環境への関心の高さを実感し、手応えを感じています。快適さを維持しながら省エネを進めることは難しいテーマですが、燃料電池で電気とお湯をつくる「エネファーム」は、まさにこれを可能とする低炭素社会に最適なシステムです。今後は機器メーカーと協力

して低価格化を図り、さらなる普及に弾みをつけたいと考えています。エネファームの多くは太陽光発電と組み合わせた「W発電」仕様ですが、さらなる低炭素社会の実現に向けた取り組みのひとつとして、エネファーム・太陽電池・蓄電池を備えた先進的住宅モデルタウン「エコライフスクエア三島きよすみ」の構想も進めています。

Q8 2010年7月から子育て支援施設が開園しますね。

100周年記念事業のひとつとして、静岡銀行さん、静岡鉄道さんのご協力もいただき、働く女性の子育てを応援するために「森のほいくえん」を静岡工場跡地に設けることになりました。この施設では、子供たちが自然に親しむと共に、大人が働く姿も間近に見えるようにしていきます。また、当社が進めている食育も取り入れたいですね。

(「森のほいくえん」は、9ページをご覧ください)

Q9 最後に、株主・投資家の皆さまにメッセージをお願いします。

100周年を迎えることができたのは、株主さまをはじめ多くの皆さまに支えていただいたおかげです。皆さまに報いるには、安定供給を第一に、さらなる成長を続けることだと考えております。天然ガスの広域供給をいっそう拡大すると共に、来るべき低炭素社会においても存在感のある会社であるよう挑戦と努力を続けてまいりますので、引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



家庭用燃料電池「エネファーム」を発売

低炭素社会実現の切り札が登場

快適な生活とエコを両立

2009年7月、家庭用燃料電池「エネファーム」の販売を開始しました。エネファームは、都市ガス（天然ガス）から取り出した水素と、空気中の酸素を化学反応させて自宅で発電。この時に発生する熱を、給湯や暖房に利用します。お湯をたっぷり使った快適な暮らしはそのままに、従来のシステムに比べてエネルギー利用効率が大きく向上し、CO₂排出量を大幅に削減します。

エネファームは、各家庭の電気やお湯を使用するパターンを記憶し、ライフスタイルに合わせた省エネ運転を行う学習機能も備えています。太陽光発電と組み合わせた「W発電」にすれば、自然エネルギーを活用して、さらなるCO₂排出量の削減が可能です。

普及に向けた体制の整備

エネファームは、低炭素社会実現の切り札ともいえる画期的な商品ですが、現時点では国からの補助金の支給を受けても200万円程度とまだ高価です。当面は、ハウスメーカーと協力して、環境意識の高い新築戸建住宅のお客さまを対象に、W発電を中心に販売していきます。

今後、本格的に普及を進めていくためには価格を下げる必要があります。メーカーやガス事業者では、2015年をめどに50万円程度にすることを目指しています。

さらに、当社では、お得なエネファーム専用料金を設定すると共に、迅速で的確なメンテナンスを行うための自社メンテナンス体制を整えました。

エネファームの価格が手頃になり、小型化が進めば、新築だけでなく、既設の戸建住宅や集合住宅にも設置しやすくなるでしょう。

自宅で電気を作る時代が、いよいよ始まりました。

担当者の声

営業統括部 低炭素システム担当マネジャー
中井 俊裕

昨年末にコペンハーゲンで開催されたCOP15（国際気候変動枠組第15回締約国会議）に参加し、「エネファーム」が世界の最先端の技術であることを確信しました。今後、わが国が世界



をリードしていくためにも総力を挙げて育てていかねばならない分野です。この数年は燃料電池メーカーやハウスメーカーと我々エネルギー会社が、しっかりと役割を果たしつつ、量産化の道筋を作りあげなくてはなりません。数年後には間違いなく低炭素社会の切り札に成長していることでしょう。ぜひ、ご期待ください。

ハウスメーカー様の声

積水ハウス（株） 静岡支店清水店 店長
水野 吉行さん

当社は、環境性を重視した「グリーンファースト」シリーズに、エネファーム、太陽光発電を備えた「グリーンファーストプレミアム」という、さらに一歩進んだ商品を設定。これまでに当支店で30棟を販売しました。

さっそくお客さまから、「快適な暮らしはそのままに、省エネ・省コストになった」との喜びの声をいただき、大変ありがたく思っています。

今年からエコポイント制度も始まり、住宅も環境性能が一層重視される中、さらなる「エコ」を推進していきます。

第3号LNGタンクが運用を開始

天然ガスのさらなる普及拡大と安定供給に対応

貯蔵能力は約2倍、送出能力は約3倍に

清水エル・エヌ・ジー袖師基地の第3号LNGタンクを始めとする第三期増設工事が完了し、2010年1月7日に運用を開始しました。

地球温暖化防止への対応が喫緊の課題となる中、環境性に優れた天然ガスは、わが国の基幹エネルギーとして、さらなる普及拡大が求められています。

当社では、1996年のLNG（液化天然ガス）輸入開始以来、天然ガスの普及拡大と安定供給に努めてきました。そして、今後さらなる需要拡大が明らかなことから、2006年4月に清水エル・エヌ・ジー袖師基地の第三期増設工事に着手しました。

工事の主な内容は、貯蔵能力向上のための第3号LNGタンクの建設と、より広域への天然ガスの供給を可能にする高圧設備の増設です。

この完成により、袖師基地のLNGの貯蔵能力は従来の約2倍、都市ガスの送出能力は約3倍に増強されました。

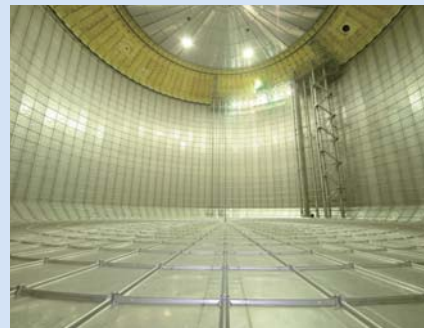


袖師基地全景（一番右が第3号LNGタンク）

<第3号LNGタンクの概要>

第3号LNGタンク
容量：約16万キロリットル
直径：約72メートル
深さ：約40メートル

参考	第1号LNGタンク 容量：約8.3万キロリットル 直径：約58メートル 深さ：約31メートル	第2号LNGタンク 容量：約9.4万キロリットル 直径：約58メートル 深さ：約36メートル
----	---	---



第3号LNGタンク内部

拡大する天然ガス需要と袖師基地の果たす役割

これまでも当社は、袖師基地を起点に、当社供給エリアのお客さま（約30万件）への都市ガスの供給はもとより、静岡県内の都市ガス事業者7社に対し、パイプラインによる卸供給やローリー車によるLNG原料供給を行ってきました。

今回の増設工事の完成により、2010年1月7日から国際石油開発帝石（INPEX）様への卸供給を開始しました。また、2013年からは、中部ガス様と共同で現在建設を進めている静岡－浜松間を結ぶ高圧パイプライン「^{しずはま}静浜幹線」を通じて、中部ガス様への卸供給を予定。加えてパイプライン沿線に点在する産業用需要への普及も期待できます。東部方面に向けては、2010年に神奈川県の湯河原までパイプラインがつながり、熱海ガス様を通して天然ガスが送られています。

県内外の天然ガス需要を支えるハブターミナルとして、袖師基地の果たす役割はますます大きくなっています。



広域パイプラインネットワーク図

<その他の主な増設設備>

送出能力を強化するために、LNG気化器やLPGタンクなどの生産設備も増設しました。



LNG気化器…マイナス162℃のLNGに海水をかけ、天然ガスに気化する装置



LPGタンク…気化した天然ガスにLPGを加え、所定の熱量に調整します

新たな地震対策システムが稼動

地震発生時の二次災害の防止と早期復旧を図る

大規模地震発生時の二次災害の防止と早期復旧を目的に、新たな緊急供給停止システムを構築し、2010年1月から稼動を開始しました。

都市ガス供給で地震発生時に重要なのは、二次災害の防止です。当社ではこれまでも、供給エリアを6つのブロックに分け、ブロックごとに一定以上の揺れ(SI値※：60カイン以上)を感知すると、そのブロック内のガスの供給を遠隔操作で停止するシステムとなっていました。しかし、このシステムでは、揺れが局所的であった場合でも、広範囲のガスを停止するため、復旧作業に必要以上の時間を要する可能性があります。

そこで、ガスを停止するブロックをこれまでの6ブロックから31ブロックに細分化し、地震計も39カ所から465カ所に増設。一定以上の揺れを感知した時、自動的にブロック内のガスの供給を停止するシステムを構築しました。これにより、二次災害防止の迅速な対応が可能となり、さらに、揺れが局所的であった場合、被害が想定される範囲のみガスを停止するため、早期の復旧が可能とします。

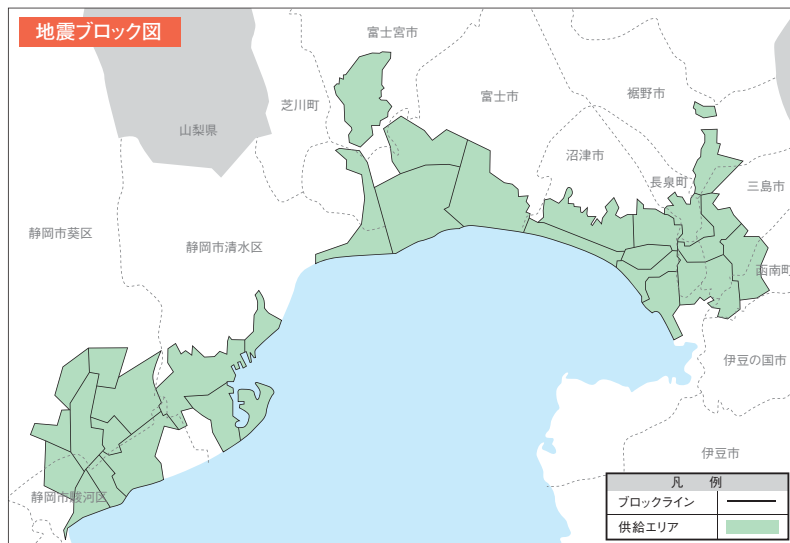
工事は、2007年11月に静岡地区から開始し、2009年末に全地区で完了、今年1月から当社の全供給エリアで新システムが稼動を開始しました。

当社では、今後とも安心して都市ガスをご利用いただくため、地震防災対策のさらなる強化に努めていきます。

<新システムの特徴>

- 一定以上の揺れを感知すると、ブロックごとにガスを自動停止
- 地震計を39カ所から465カ所に増設
- ブロックを細分化し、必要な範囲のみガスを停止することで、早期復旧が可能に

※SI値(単位:カイン=cm/sec)とは、地震の揺れと建物被害との相関が高いとされている指標の1つ。



事業所内保育施設「森のほいくえん」開設へ

子育てしながら安心して働ける職場に

近年、子育て支援やワークライフバランス(仕事と家庭の両立)の実現、女性のキャリア形成が求められています。

そこで、「子育てしながら安心して働き続けることができる職場環境の整備」を目的に、当社・静岡銀行・静岡鉄道の3社共同で、事業所内保育施設「森のほいくえん」を開設します。開園は2010年7月の予定です。



完成予想図

「森」の中で、健やかな体と心をはぐくむ

「森のほいくえん」が建設される場所は、木々が多く自然に恵まれた環境です。子供たちは、「森」の中で遊ぶことにより、さまざまな体験をします。その体験を通して、子供たちが生まれながらに持っている「育つ力」を、愛情と信頼に満ちた環境の中で伸び伸びと育てる、それが「森のほいくえん」のコンセプトであり、名称の由来となりました。

ホームページをリニューアル

内容の充実と、使いやすさの向上を図る

当社ホームページを、2009年12月にリニューアルしました。

- リニューアルの目的は、①掲載情報の一層の充実、②使いやすさの向上、③デザインの刷新によるイメージアップの3点です。

- ◇スペシャルサイト「MOTTOGAS」では、お客さまの生の声を掲載し、最新ガス機器の快適性・先進性を訴求しています。
- ◇人気の「クッキングスタジオ(料理教室)」サイトは、より見やすく、検索しやすくなりました。
- ◇「IR」サイトには、「よくわかる静岡ガス」などの新コンテンツを設け、多くの方に当社を易しく理解していただくよう努めました。

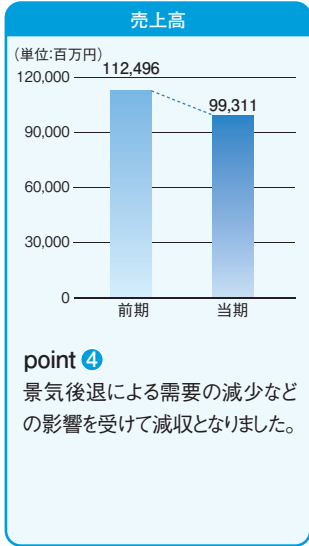
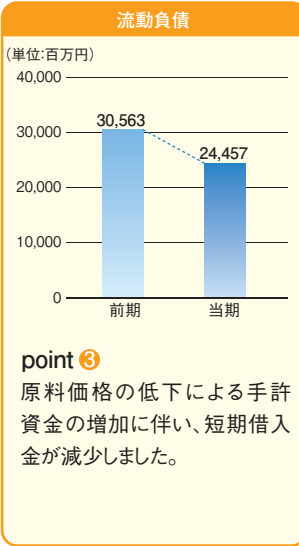
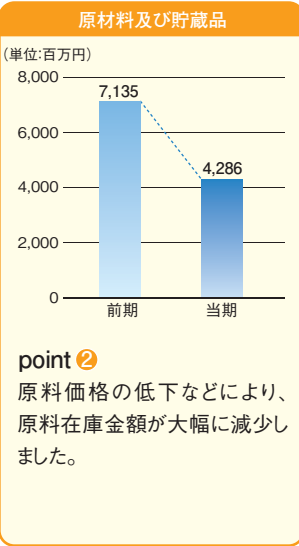
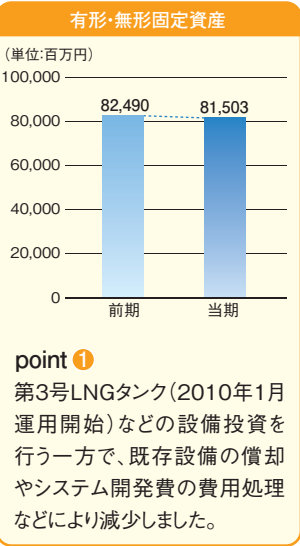
その他のページも全面的にリニューアルを行っています。ぜひ、新しく生まれ変わったホームページをご覧ください。



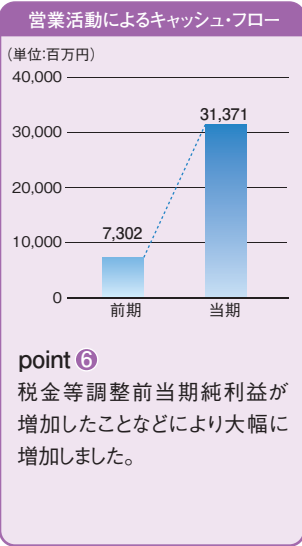
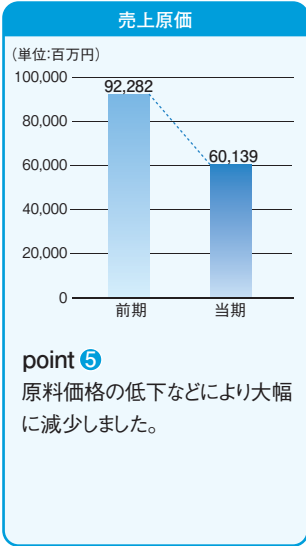
<静岡ガスホームページアドレス> <http://www.shizuokagas.co.jp/>

連結財務諸表(要旨)

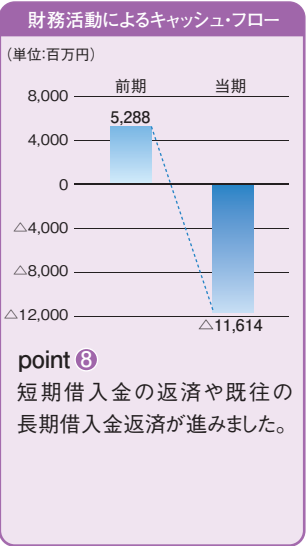
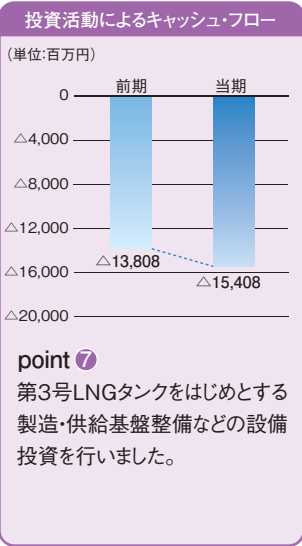
(単位:百万円)				
連結貸借対照表	当 期 (2009年12月31日現在)	前 期 (2008年12月31日現在)	当 期 (2009年12月31日現在)	前 期 (2008年12月31日現在)
資産の部			負債の部	
固定資産	93,800	95,234	固定負債	37,429
① 有形固定資産	79,905	79,258	③ 流動負債	24,457
無形固定資産	1,598	3,231	引当金	—
投資その他の資産	12,296	12,744		114
流動資産	20,292	19,629	負債合計	61,886
現金及び預金	5,075	725		70,259
受取手形及び売掛金	6,898	9,224	純資産の部	
② 原材料及び貯蔵品	4,286	7,135	株主資本	42,943
その他	4,032	2,543	評価・換算差額等	2,029
繰延資産	—	93	少数株主持分	7,233
				5,599
			純資産合計	52,206
				44,698
資産合計	114,092	114,958	負債純資産合計	114,092
				114,958



(単位:百万円)		
連結損益計算書	当 期 (2009年1月1日から 2009年12月31日まで)	前 期 (2008年1月1日から 2008年12月31日まで)
④ 売上高	99,311	112,496
⑤ 売上原価	60,139	92,282
売上総利益	39,171	20,214
供給販売費及び一般管理費	27,011	23,957
営業損益	12,160	△ 3,743
営業外収益	780	453
営業外費用	788	937
経常損益	12,152	△ 4,227
特別利益	203	111
特別損失	484	153
税金等調整前当期純損益	11,871	△ 4,269
法人税・住民税及び事業税	3,638	838
法人税等調整額	154	△ 2,274
少数株主利益	1,623	175
当期純損益	6,454	△ 3,008



(単位:百万円)		
連結キャッシュ・フロー計算書	当 期 (2009年1月1日から 2009年12月31日まで)	前 期 (2008年1月1日から 2008年12月31日まで)
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	31,371	7,302
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,408	△ 13,808
⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,614	5,288
現金及び現金同等物の増減(△)額	4,347	△ 1,217
現金及び現金同等物の期首残高	698	1,916
現金及び現金同等物の期末残高	5,046	698



ガス

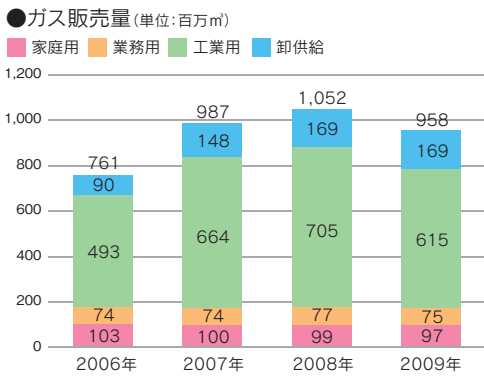
都市ガスの製造・供給・販売、LNGの販売

ガス販売量は、前期比8.9%減の958百万㎡となりました。用途別では、家庭用は、暖冬の影響で給湯需要が減少したことなどにより、前期比2.6%減の97百万㎡となりました。業務用（商業用・公用及び医療用）は、新規需要開拓は順調に進んだものの、暖冬、冷夏の影響で空調需要が減少したことなどにより、前期比1.9%減の75百万㎡となりました。工業用は、景気低迷に伴う大口需要家の稼働低下などにより、前期比12.8%減の615百万㎡となりました。卸供給は、卸供給先での需要増加により、前期比0.2%増の169百万㎡となりました。

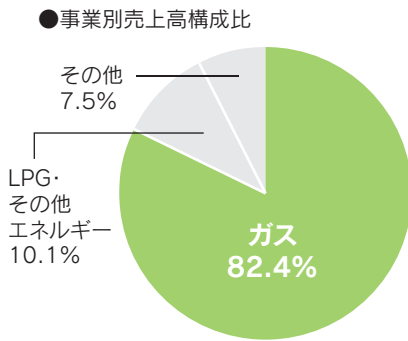
ガス売上高は、ガス販売量の減少に加え、原料費調整制度により販売単価が上期こそ

前年同期を上回ったものの下期には前年同期を下回って推移したことなどから、前期比10.6%減の82,334百万円となりました。

一方、原料価格の低下により売上原価が大幅に減少したことなどから、営業利益は14,826百万円となりました。



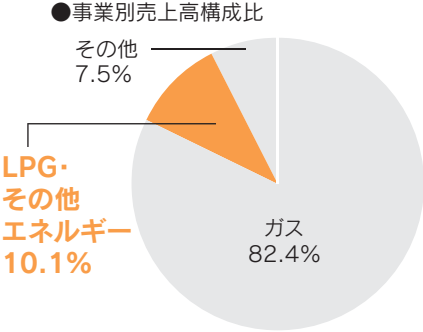
(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。
ガス販売量は、標準熱量を1㎡当たり45MJ(メガジュール)換算で表示しております。



LPG・その他エネルギー

LPGの販売、オンサイト・エネルギーサービス

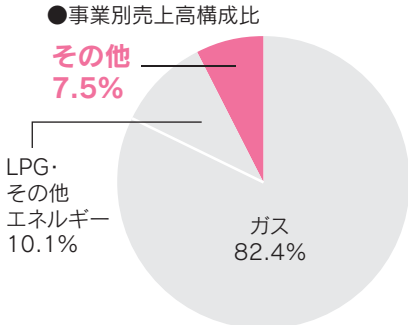
LPG販売は、ガス販売量の減少や原料価格低下に伴う販売単価の下方調整などにより、売上高は前期比22.7%減の10,345百万円となる一方で、原料価格の低下により売上原価が減少したことなどにより、営業利益は同36.9%増の877百万円となりました。



その他

ガス工事の施工、ガス機器の販売、住宅設備機器の販売・施工、不動産の賃貸、車両・事務機器等のリース

受注工事及びガス機器販売部門において、12のカンパニー「エネルギー」と共に進めるエリア営業体制のさらなる推進により精力的な販売活動に努めましたが、景気低迷の影響によりガス機器販売台数や受注工事件数が減少したことなどにより、売上高は前期比6.8%減の13,808百万円、営業損益は141百万円の損失となりました。



※ 各セグメント別の業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。
事業別売上高構成比は、外部顧客に対する売上高に基づいております。

私の重点戦略

地震に強い都市ガスに向けて

「明日起きても不思議ではない」と東海地震発生の可能性が提唱されてから30年余り、防災意識の風化との警鐘もある中、当社は、常に新しい技術・情報に目を向け、災害対策を見直すことによりレベルアップに努めてきました。

当社の地震対策は、大きく「設備対策」「緊急対策」「復旧対策」の三つに分けることができます。

「設備対策」の主なものは、設備の耐震化です。ガスの生産および供給設備の多くは東海地震を想定した震度に耐え得る性能を有しています。また、一部に残っている耐震性が低いガス導管は、耐震性に優れたポリエチレン管への入れ替えを計画的に進めています。

「緊急対策」は、発震時の二次災害防止対策で、一定以上の揺れの地震が発生した場合、ガスの供給を遮断する設備の設置が主なものです。まず、震度5弱以上の地震が発生した場合、お客さまごとにガスを遮断するガスメーター（マイコンメーター）を各ご家庭に設置しています。さらに、全供給区域を31のブロックに分割し、ブロックごとに地震の規模により自動的にガスの

供給を遮断するシステムも稼働しています。ブロック遮断システムは、ブロックの細分化や地震計の大幅な増加など、旧システムを大きく見直し、本年1月より稼働を開始しました。

「復旧対策」は、ガスの供給を停止した場合に速やかに復旧するための対策です。具体的には、ガス業界の相互応援体制の確立、資器材の備蓄、防災訓練の実施等です。前述のブロック遮断システムも、被害が想定されるブロックのみガスの供給を遮断するため、早期復旧につながります。

昨年8月11日、駿河湾を震源とする震度6弱の地震が発生しました。当社では対策本部を設置して対応しましたが、幸い被害はありませんでした。しかし、細部ではいくつかの課題も確認できましたので、現在マニュアル等の改定を進めています。今後も常に対策のチェックと見直しを行うことにより、「地震に強い都市ガス」を実現したいと考えています。



専務執行役員 森田 和人



心と体に栄養を ガスで楽しく クッキング

こばたてるみの食育レシピ

心身ともに豊かで健康的な生活を送るためには、バランスの取れた食生活はとても大切です。当社では、親子料理教室などを開催し、ガスの炎を通して、食の大切さや料理の楽しさを学んでいただく食育活動に取り組んでいます。

このコーナーでは、当社が協賛する食育と運動を融合させたプログラム「食育アドベンチャー®」を主催する、(株)しよくスポーツ代表取締役、こばたてるみ先生による、おいしくて体のことを考えたレシピをご紹介します。

春の食材で心と体を元気にしよう



タラの芽とベーコンのガーリックソテー

材 料 (4人分)

タラの芽	20個
ベーコン	2枚
にんにく	3かけ
オリーブオイル	大さじ1・1/2
塩	少々
ブラックペッパー	少々

作り方

- ①タラの芽はキレイに処理し、軽く下茹でして水気を切っておく。
- ②にんにくは細かく刻み、ベーコンも2mm角に切る。
- ③フライパンにオリーブオイル、②のにんにくを入れ火にかける。香りがしてきたらベーコンを加え弱～中火で焦がさないように炒める。
- ④①のタラの芽を加えサッと炒め、塩、ブラックペッパーで味を調える。
- ⑤器に盛り、できあがり。



焼き筍の春ソース

材 料 (4人分)

茹で筍	240g
塩	少々
A「マヨネーズ」	大さじ2
カレー粉	小さじ1
B「マヨネーズ」	大さじ2
抹茶	小さじ2/3

作り方

- ①茹で筍を輪切りにし、ペーパータオルで水気を拭く。
- ②グリルに①を乗せ、軽く塩を振りうすら焦げ目がつく程度に焼く。
※焼き過ぎは、水分が飛び過ぎるので注意
- ③A、Bそれぞれをラップもしくはビニール袋に入れてよく混ぜ、爪楊枝で小さな穴をあけ、②にトッピングする。

春が旬の食材に含まれる苦みやアクは、冬眠から覚めた動物の体に刺激を与え、活動をしやすいする働きがあるといわれています。私たち人間は冬眠はしませんが、寒さで運動不足ぎみの体に、タラの芽や筍など旬の食材で刺激を与えてみてはいかがでしょうか。



photo by Miura

こばたてるみ

株式会社しよくスポーツ 公認スポーツ栄養士、健康運動指導士
国立健康・栄養研究所非常勤職員、静岡県立大学非常勤助手、フリーでの活動を経て、2005年「しよくスポーツ」を設立(2008年法人化)。Jリーグ、オリンピック選手から、一般の子供やシニアまで幅広い層への食事のアドバイスをを行う。食育に関する講演、商品開発、指導者の育成など幅広い活動を行っている。
(主な受賞)
・2003年静岡県ニュービジネス大賞
・2006年静岡県男女共同参画社会づくりに関する知事褒賞 チャレンジの部受賞
・日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2009」キャリアクリエイト部門6位

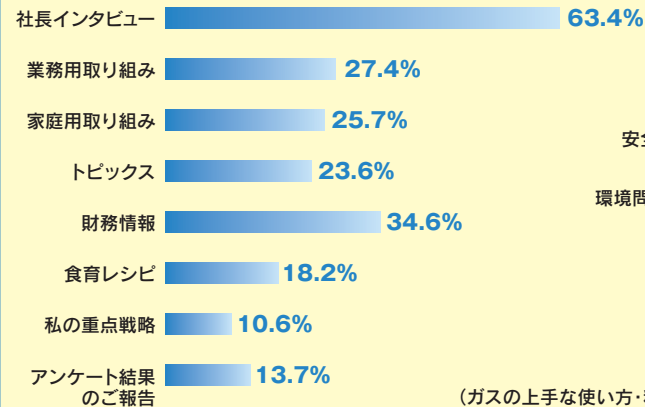
(株)しよくスポーツ ホームページ <http://www.shoku-sports.jp/>

アンケート結果のご報告

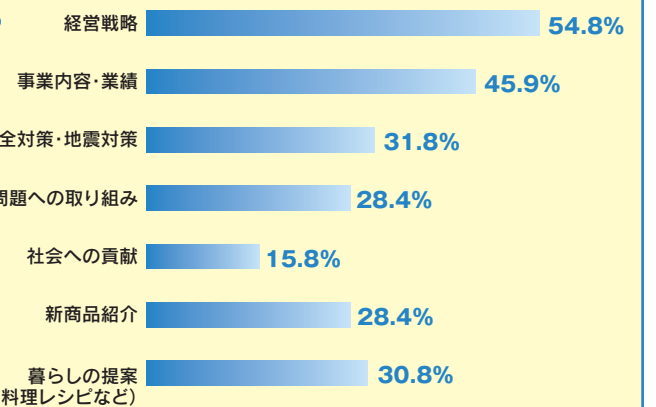
第162期中間報告書で実施させていただきましたアンケートにご協力いただき、厚く御礼申し上げます。当社では、株主の皆さまからのご意見や感想を参考に、より良い誌面づくりに活かしてまいります。

中間報告書について

Q 今回の報告書の中で関心を 持たれた内容はどれでしょうか？ (複数回答)



Q 今後、掲載を希望される情報をお聞かせ下さい。(複数回答)



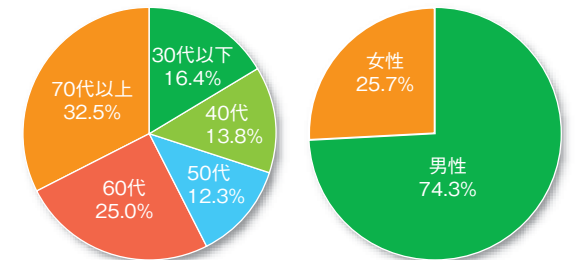
ご意見・ご質問

Q 中間報告書で子供・親子向けの食育料理教室があると掲載されていますが、他にはどのような料理教室がありますか？ 内容や申込み方法を教えてください。

当社の料理教室は、子供・親子向けの食育料理教室の他に、女性を対象としたものはもちろん、男性や初心者向けの教室などをご用意し、多くの方々にご参加いただけるようになっております。内容は、季節や各ショールームで異なりますので、詳細についてはホームページ(下記参照)でご覧ください。お申込みは、お電話でもホームページからでも行えます。多くの方のお申込みをお待ちしております。

ご回答者のプロフィール

※無回答を除く



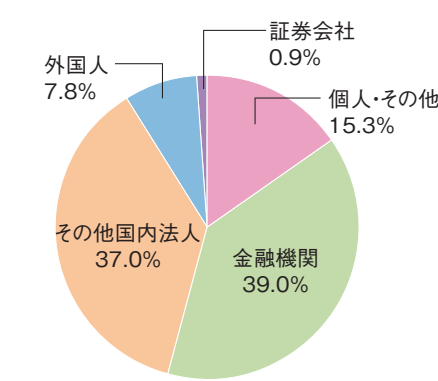
静岡ガスホームページ <http://www.shizuokagas.co.jp/>

発行可能株式総数 240,000,000株
発行済株式の総数 76,192,950株
株主数 2,802名

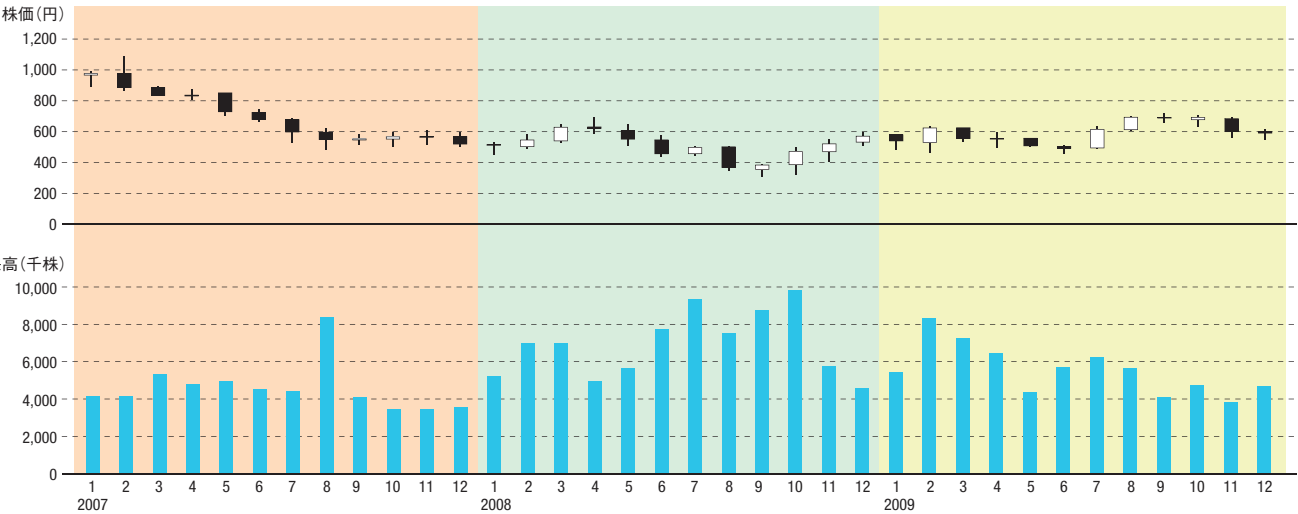
●大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,226	6.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,929	6.46
第一生命保険相互会社	4,687	6.15
東京瓦斯株式会社	4,000	5.24
鈴与商事株式会社	3,491	4.58
三菱商事株式会社	3,203	4.20
東京電力株式会社	3,000	3.93
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	2,820	3.70
株式会社静岡銀行	2,682	3.52
鈴与株式会社	2,543	3.33

●所有者別株式分布状況



●株価および出来高の推移



会社名 静岡瓦斯株式会社
設立 1910年(明治43年)4月16日
資本金 6,279百万円
従業員数 単体:634名 連結:1,131名

●取締役および監査役(2010年3月25日現在)

代表取締役社長 岩崎 清悟
代表取締役 森田 和人
取締役 佐塚 一仁 宮坂 広志
杉山 寛 戸野谷 宏
社外取締役 松浦 康男 兼坂 光則
常勤監査役 羽間 昭夫
社外監査役 野末 寿一 稲葉 孝宏
金井 義邦

●事業所
本社 静岡市駿河区八幡1-5-38
静岡支社 静岡市駿河区池田28
富士支社 富士市荒田島町10-52
東部支社 沼津市岡一色809

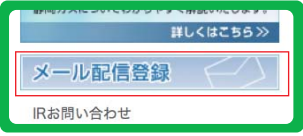
●執行役員(2010年4月1日現在)

取締役社長 岩崎 清悟
専務執行役員 森田 和人 戸野谷 宏
宮坂 広志
常務執行役員 佐塚 一仁 杉山 寛
前野 克己 遠藤 正和
執行役員 伊久美 豊 松永 多佳夫
片山 栄夫 望月 俊直
佐塚 健二

IR情報配信サービスのご案内



当社では、決算やガス販売量などのニュースリリースをEメールにより無料でご案内するIR情報配信サービスを行っています。
お申込は、当社ホームページ「株主・投資家の皆さまへ」(下記参照)にアクセスした後で、画面右下の「メール配信登録」をクリックして専用ページよりご登録下さい。



●静岡ガスホームページ
<http://ir.shizuokagas.co.jp/>